

# 令和4年度 第2回 釧路市障がい者自立支援協議会 運営会（結果）

## 【議事】

### 1. 釧路市障がい者自立支援協議会 専門部会等の活動状況について

（意見）

- 放デイつどいについて、研修会に向け準備中です。
- 雇用就労部会について、積極的な WEB 開催や書面開催も視野にいれて実施していきたいと考えています。
- 現在の 5 部会にいくつかの小部会もしくは小 G を追加する体制が必要と考えております。
- 相談支援部会について、新年度新たに相談支援事業を始めた事業所等もあったため、参集して開催できたのは良かったと思っています。
- ☞（事務局より）今年度より専門部会の部会長及び副部会長が中心となり運営しているところがございます。在り方を変えた初年度でもありますので、今後活動していく上で検討していきたいと考えております。

### 2. 日中サービス支援型共同生活援助に係る協議会への報告等について

（意見）

- 今年度より「ひかりの里」が報告となるので宜しくお願い致します。
- 特にありませんが報告書を見ながら各事業所を訪問させて頂きたいです。
- 様々な課題が双方にあります。現時点では現状の形を継続することが望ましいと考えております。

### 3. 障がい者地域生活拠点等の事業について

（意見）

- 事前登録に関わる相談件数にて 1 と 5 の方での差異を詳しく聞きたいです。5 の対象外の方は家族が健在とのことですが、1 の母親については特に書かれていないのと、5 の知的障害女性についてもどの程度のレベルなのかがわかると助かります。それ以外に伝えられる情報があればお願いします。
- 教育部会に入ったばかりの方や第 3 者が見た際に詳しく書いて頂けると、資料を見て基準などを把握できるかと思いました。

○まずは設立できてよかった感があります。運営は大変さもあろうかと推察しますが内容を拡充してほしいと思います。現状では「拠点」とは言いにくい感もあります。

「拠点」に事前登録は不要と思います。スタートは事前登録もやむなしですが「事前登録」なしに自由に活用できる「拠点」でなければ信頼が勝ち取れない可能性があると考えます。緊急、困ったときに頼りにする場所が「拠点」でなかろうかと・・・実績が一つの証明かもしれません。設立できて良かった。運営は大変さもあろうかと推察しますが、内容を拡充してほしいと思います。

☞（コーディネーターより）

『拠点整備事業の報告の内容について』1については重症心身障害で在宅の方ですが、介護者である母親は高齢で、例えば本人の移乗等でバランスを崩してしまうと立て直すことができない等の差し迫った状況にあると同時に、親類を含めていざという時に頼ることができない方であるため対象としました。

5については知的障害重度の方ですが、父母ともに高齢であるものの、本人への介護や介助が日常的に必要ではなく、毎日生活介護へ通所していること、疾病等はなく元気であること、そして、差し迫った大きな課題はないため、緊急時の対応としての動きよりも、将来の住まい方を含めて体験や経験を進めていくながら、相談支援専門員が中心となって障害福祉サービス等を調整して自立に向けた安心して生活できる場所を作る方が良いとの判断で対象外としました。

実際に相談支援専門員からの話だけではなく、相談支援専門員と同行して、直接ご本人とお会いしたり、母親等同居者から聞き取りを行った上で、相談支援専門員の話聞いて判断しています。

☞（事務局より）障がい者地域生活支援拠点等事業について、事前に登録をしていただくことで、障がい特性等の内容の把握を共有することで、緊急時の受け入れ先の対応もスムーズに実施ができ、障がい者の安全と安心に繋がられる支援と考えております。今しばらく、現行の事前登録を行う体制にて運用し、検証が必要であると考えております。